

国防は最大の  
福祉である  
初代会長 故 高橋季義



# 國の支え

(故中井信夫元大阪府議会議長・95才)

関西防衛を支える会  
(略称・関防会)  
〒542-0081  
大阪市中央区南船場3-11-10  
心斎橋太陽ビル7階  
TEL 06-6241-1124  
発行人 濱野晃吉  
編集人 新川貞敏  
印刷所 (株)新聞印刷

第55号  
(夏季号)  
平成25年7月1日(月)  
(皇紀2673年)  
(大正紀元102年)  
(昭和紀元88年)

本日は関西防衛を支える会、第16回定期総会にご出席頂き、有難うございます。弊会の活動が高い評価を頂き、昨年末は防衛大臣から感謝状が授与されました。また会員数も年々増加しており、これも皆様からの熱いご支援の賜物と感謝申し上げます。

昨年12月の衆議院選挙で、自民党が大勝利し、安倍政権が誕生しました。前回の安倍政権は「戦後体制からの脱却」と「美しい日本をつくる」事を目指し、「教育基本法を改正」し、防衛

とて「防衛省」に昇格させ、憲法改正の為に国民投票を成立させ、本当によく頑張ってくれました。今回の安倍政権は「日本を戻す」を掲げてスタートしたが、低迷していた空気を一変させています。失われた20年といわれた経済はアベノミクスで金融緩和、財政出動、成長戦略を打ち出し、円安(100円

越え)、株高(就任後70%以上上昇)が進み、GDP(1~3月で年率換算3%以上)も伸び、景気回復の兆しが見えてきました。これを一層確かなものにする為には、経済、産業のエネルギー政策が

大事であり、産業の根幹である電気を安く、質の良いものにしなければなりません。原子力発電所が止まってしまうため、火力発電にたよるため、火力発電にたよる化石燃料が値上がりし、漁師も海へ漁に行けない状態である。電気代が上がると、企業の負担が大きくなっていく。このままでは日本の企業の競争力が失われる。幸い日本の周りにはメタンハイドレードがあり、将来これが利用されると日本の電気代は安くなる。日本と

しては多様なエネルギー政策をとり、安全性を確認した原発については速やかに稼働させるべきである。日本にはどうした課題はあるが、日本経済はようやく上向きになった。一方中国経済は真暗である。世界の工場と言われたが毎年の賃上げで人件費が上昇し、経営が成り立たなくなっている。アメリカの会社も自動車の部品の不具合を契機に本国に次々と企業が引き揚げていく。ヨーロッパの会社も引き揚げ出した。また、格差が大きい事を理由に紛争がおき、暴動も多数発生している。中国は国内問題から目をそらすため、尖閣で問題を起す可能性が大である。現に、日本が尖閣諸島を国有化して以来、中国による領海侵犯が繰り返され、日本の領空まで侵犯するに及んでいる。さらに、今月に入り、中国の潜水艦が潜没したまま、日本の接続水域に繰り返し入ってきた。中国は尖閣の領有権問題があることを日本に認めさせようと、こうした軍事威嚇をしているが、安倍政権はこうした恫喝に屈することなく、毅然と対応しており、実に立派である。

また弊会では6月9日阪神基地高橋忠義司令のお世話で、掃海艇に乗船する。すでに百名を超える応募があり、大変盛況であります。10月には伊勢神宮の御遷宮、明野駐屯地ヘリコプター見学の旅、11月にはボルネオ慰霊の旅を企画していますので、是非ご参加下さいませ。

総会後の本日の講演は中部方面総監河村仁氏にお願いしております。総監は、大阪と縁が深く、身内のように親しみある方で、今日は現場からの興味深い貴重なお話を伺えると思います。

最後に今後とも弊会の活動にご支援賜りますようお願い申し上げます。御挨拶とさせていただきます。本日は誠に有難うございました。

## 第16回 定時総会開催

平成25年5月26日、於 ホテルグランビア大阪



### 日本を取り戻す

会長 濱野 晃吉

### 11月にボルネオ慰霊の旅 企画

き揚げ出した。また、格差が大きい事を理由に紛争がおき、暴動も多数発生している。中国は国内問題から目をそらすため、尖閣で問題を起す可能性が大である。現に、日本が尖閣諸島を国有化して以来、中国による領海侵犯が繰り返され、日本の領空まで侵犯するに及んでいる。さらに、今月に入り、中国の潜水艦が潜没したまま、日本の接続水域に繰り返し入ってきた。中国は尖閣の領有権問題があることを日本に認めさせようと、こうした軍事威嚇をしているが、安倍政権はこうした恫喝に屈することなく、毅然と対応しており、実に立派である。北朝鮮は、日本、アメリカから制裁を受けていたが、国際的圧力から中国も北朝鮮銀行口座閉鎖の制裁を実施した。日本における朝鮮総連中央本部建物について、更に立派である。また弊会では6月9日阪神基地高橋忠義司令のお世話で、掃海艇に乗船する。すでに百名を超える応募があり、大変盛況であります。10月には伊勢神宮の御遷宮、明野駐屯地ヘリコプター見学の旅、11月にはボルネオ慰霊の旅を企画していますので、是非ご参加下さいませ。

### 満洲国 五族の墓慰霊大祭

日時 8月25日  
午後0:10分開始~14:00解散  
会場 高野山・五族の墓前  
高野山駅からバスで「一の橋」バス  
停車すぐ  
同期の桜碑から200M、空挺同志会碑より100M先  
趣旨 満洲国軍官学校(士官学校)に学んで動乱の中、生還したOBたちが共に生活した、漢民族、満洲族、朝鮮族、白系ロシア、日本人の五族を慰霊する大祭です。  
一度参列して満洲国建設の理念に触れ歴史を振り返る好機と、お薦めします。(参拝無料)  
会長 後藤文夫氏(関防会会員)  
連絡 松永有策氏  
☎090-9612-4104

### 第43回 関防会の歴史勉強会 中島サロンのご案内

日時 平成25年7月13日(土曜日)  
午後4時開会  
講師 三宅 博衆議院議員(日本維新の会)  
昭和25年、大阪八尾市生まれ(63才)  
八尾市議会議員3期目の途中で衆議院に立候補する  
北朝鮮に拉致された日本人を救出する地方議員の会を結成  
演題 捏造中韓の歴史観を斬る  
従軍慰安婦など存在しない

会費 5,000円(含む飲食代)  
40才未満は3,000円(含む飲食代)  
学生は2,000円(含む飲食代)  
担当 奥 久嗣 ☎090-3929-5267 関防会 FAX 06-4302-5187

日時 平成25年8月24日(土曜日)  
午後4時開会  
講師 山分ネルソン医師(40才)  
昭和48年マレーシア生まれ、18才で来日、大阪大学医学部卒  
大阪十三で英語、中国語、韓国語に対応する産婦人科医院開業中  
演題 美し国・日本(うまし国・日本)  
東南アジア諸国の中で例の3ヶ国を除けば日本が戦ってくれた御蔭で独立できたと思っている。3ヶ国以外の国民は皆日本及び日本人が好きである。

会場 錦城閣 ☎06-6941-2185  
地下鉄谷町線、京阪電車天満橋駅下車直上  
キャッスルホテル3F(中国料理店)

# 第16回定時総会

## 講演

5月26日

皆さん、今日は。ただ今ご紹介頂きました河村です。私は昭和53年に防衛大学を出まして自衛隊生活35年になりました。

平成18年に大阪地方協力本部長として勤務しましたが、その前に中部方面隊の勤務もあり関西はなじみ深いところで、この中の多くの方も良く存じ上げております。今日は日本の防衛についてお話しを、このことですが「関西防衛を支える会」の皆様は国防に詳しいと思いますので、私なりに分かり易く話したいと思えます。

### 魂は永く祖国を守る

関防会の講演案内に陸士21期の樋口季一郎(陸軍中将)さんに私が似ている、と書いてありましたが、恥ずかしながら樋口さんと言つた人、この案内を見るまで存じませんでした。そこで『指揮官の決断』と言つ本などを読んで勉強しました。

昭和18年5月アッツ島の守備隊が玉砕しまして、その北にあるキスカ島の守備隊6000名が孤立し、玉砕も時間の問題と言われていたが、無事に全員撤退することができました。その救出時の艦隊司令官・木村昌福(まむらむ 海兵41期)さんについては関係の本を読んで知っておりましたが、樋口さんについては存じ上げませんでした。

樋口さんは北部軍管区司令官(第5方面軍)で終戦を迎えますが、三つの奇跡的事例に因与されています。一つ目は、ハルビン特務機関長在任中(少将時代)にシベリアでユダヤ人2万名が国境で足止めをされていました。

皆さんはリトアニア大使だった杉原千畝さんが1940年(昭和15年)ヨーロッパから逃がれて来たユダヤ人6000名に徹夜でビザを発給して助けた、この話はご存知だと思いますが、樋口さんはその2年前の1938年(昭和13年)にヨーロッパからロシアに行ったユダヤ人を満洲国にビザを発給させることで助けました。日独同盟に配慮してビザ発給をためらっていた関東軍や満洲国、外務省などと折衝して上海まで送り届けたのです。この人達は上海からアメリカや



左から、井上奈良司令、高橋阪基司令、濱野会長、河村総監、竹本顧問

オーストラリアに渡り助かったということ。

二つ目は、先程述べましたが、アリューシャン列島のキスカ島撤退です。アッツ島もキスカ島も北部方面軍管区の指揮下にあります。つまり玉砕したアッツ島の山崎保代大佐は樋口さんの部下であります。米軍の猛攻に救援を求める山崎大佐に樋口中将は苦悩しますが、大本営は「救援作戦実行不可能」とアッツ島を見捨てる意志を表明します。山崎大佐は「戦する身、生死はもとより問題ではない。守地よりの撤退はこの島の将兵一同の望むところではない」「在島将兵一丸となって死地につき、魂は永く祖国を守るものと信ず」と返電して玉砕したのです。

この玉砕の例があるものですから、樋口さんは大本営と激論を激論を重ね海軍の協力を取り付けキスカ島撤退に成功します。濃霧の中の奇跡的な救出でした。

三つ目は、8月15日終戦になりますが、ソ連軍が8月18日に千島列島の北端にあるシムシム島(占守島)を攻撃します。そのとき日本軍は武装解除を始めていたのですが、指揮下部隊に戦え、と反撃を命じました。その結果、日本軍は1000名弱の死傷者が出ましたが、ソ連側は15000から40000名くらいの死傷者が出る激戦となりました。ソ連は北海道を二分しようと、あるいは占領しようと思っていたのですが、日本が占守島で戦わなかったら、そのまま北海道に侵攻し北海道の半分は分断されていた可能性があったのです。

## 防衛講話 要旨

### 中部方面総監 陸将 河村 仁

わけてです。占守島の戦いは、朝鮮半島のような分断国家になることを防いだ、そういう意味で大きな価値があったと思います。

### 陸海空統合運用の重要性

国を守るためには防衛力が必要ですが、政治、外交もあります。防衛力は我が国の安全保障の最終担保だと思っています。我が国に直接脅威が及ぶ事を未然に防ぐ「抑止力」とそれを排除する「能力」と意志だと思っています。いま総合的な即応性の高い部隊運用能力の重要性が増大していると考えます。事態の兆候が出て、発生するまでの時間がない事案に、即応性や円滑な陸海空防衛力の統合の

重要性が増しています。我が国の防衛力は、基盤的防衛力から現在基動的防衛力の考えに変化しましたが、その役割は三つあります。実効的な抑止と対処、アジア太平洋地域の安全保障環境の安定化、そしてグローバルな安全保障環境の改善に積極的に関与する、と言つものことです。

この役割を果たすため、統合の強化、島嶼部における対応能力の強化、情報機能の強化や高い科学技術を持たないといけません。

### 防衛力の活用

冷戦が終結して民族、宗教、あるいは領土や主権紛争が起きていますし、大量破壊兵器やミサイルなどが拡散するともに国際テロ組織や海賊行為などが世界各国に起きています。ソマリアのような破綻国家が出現するとその影響で安全保障に色々な問題が出て来ます。最近では宇宙空間やサイバーテロです。我々の防衛力も、こういうものに対処しなければならぬと云うことで、その果たす役割は広がっていると考えます。

アジア太平洋地域を見てもパワーバランスが変化して、中国のミリタリーパワーが増加しています。一方ロシアも順調な経済の影響で兵器の近代化がどんどん進ん

次に中国ですが国防予算が過去20年間余りで約30倍の規模に伸びています。兵器の近代化力を入れて射程約2000キロの対艦ミサイルや巡航ミサイルを持っていますし、またロシアから買入れた空母を就役させて、それに搭載する戦闘機を開発、またサイバー攻撃能力の向上を図っています。それと新聞などで第一列島線、第二列島線などの文字を見られたと思いますが、第一列島線は日本の伊豆半島からグアム、サイパン、ブルネイを結ぶものです。第一列島線は福岡から台湾を結ぶ線内を支配しようとするものです。この線で行くと沖縄地域も含まれます。

アメリカは距離的にアジアと離れていますから、米軍はグアム、沖縄といった前方に展開基地を持っています。また空母から艦載機を飛ばして遠距離から対応する。一方中国は、先程も申し上げたように2000キロの対艦ミサイル、巡航ミサイルを使って近づけないようにする、あるいはサイバー攻撃です。これでは米軍も容易に行動できないことになり。また米軍は情報に依存する部分が多いので、米軍の弱点をつくASATなどを開発しているとも云われています。

中国の海洋での活動は活発化していますが、その目的は4つあるのだからと思います。

- 1、領土領海を防衛するため、努めて遠方海域で敵の作戦を阻止
  - 2、台湾の独立を阻止するため、軍事的能力の整備
  - 3、尖閣、西沙、南沙諸島など海洋権益の確保
  - 4、自国のシーレーンの確保です。
- ロシアについて**
- ロシアも経済が好調で、97年(平成9年)以降コンパクト化、近代化、プロフェショナル化と云うことで軍事力の近代化を図っています。極東での軍事力整備にも力を入れていますので、またまた注意が必要です。我が国周辺での活動ではスクランブルも多いし、回数も増えて



講演中の河村総監

います。空中給油機で給油して戦略爆撃機が日本列島を一周しています。北方領土におかれている装備の近代化が図られ、さらにフランスから「ミストラル」と云う兵員900名、戦車13両くらいの積める強襲揚陸艦を購入し配備しています。

### 米国は

米軍は予算が減っています。以前はヨーロッパとアジアの2方面に対処すると言つ話でしたが今はアジア重視の方向です。欧州の米軍は大幅に減少しましたが、アジアの米軍数は冷戦後もほとんど変わっていません。オバマ大統領もアジア太平洋地域の安全保障が米国の利益に關係するので重要視していると明言しています。この写真は米軍の新しい無人攻撃機で航続距離4000キロ、これには強力なレーザーや長距離ミサイルを積んで、遠方から直接攻撃できる兵器です。米国は予算削減の中でも自国の利益のために巨額の予算を投入して新兵器を開発しているのです。

### 我が国は

25年度の防衛予算や防衛計画の大綱、中期防衛力整備計画がどうなるか分かりませんが、島嶼攻撃に対する陸上自衛隊の備えは主に西部方面隊が担っていますが、今後この地域にどのような警戒監視機能を持たせ強化するか、また迅速な展開対応をいかにするかを陸自にとっての課題だと思っています。

また、国内では島嶼奪還作戦を陸・海・空の統合訓練をやっていますが、6月にはカリフォルニアで米海兵隊と共同訓練をします。海上自衛隊のイージス艦に積んでいる対弾道ミサイルは、定期整備があり常時使用可能でないため、更に2隻のイージス艦にSM-3を配備する予定です。

航空自衛隊のPAC-3は対弾道ミサイルですが絶対数が足りませんからすべての高射隊に配備しようという検討が進んでいます。

我が国は、資源を他国に頼っていますから、国際社会の安全保障の課題が我が国に大きな影響を及ぼします。これらの国と信頼関係を結び我々を知ってもらうことも重要です。防衛協力や国際貢献をすることも大切で、防衛の実効性を高めるには多国間の相互理解が不可欠です。

今年には防衛大綱の見直しがありますが、国民の皆様は防衛に対する関心が高まれば、それは力になりますので、ぜひとも防衛省・自衛隊を応援して下さい。

# インドネシア独立戦争 で共に戦った日本兵

監事 山本 賢一

インドネシアは、三百五十年という長い期間、オランダの植民地として苦しめられた。この苦しみから解放したのは日本軍だった。一九四二年三月一日、日本軍はジャワ島に侵攻。現地の人々は日本軍に協力的で、僅か十日間の戦闘でオランダ軍はあえなく降服した。地元の人々は長きにわたって圧政を強いたオランダをあとという間に撃破した日本軍の戦闘力に驚き、かつ「アジア人でも西欧に勝利できるのだ」という確信を持った。

日本軍の司令官、今村陸軍中将はアジア諸国の解放に強い信念を持って軍政を進めた。その具体的な政策は次のとおりである。

- ① スカルノやハッタといった民族主義運動家を牢から釈放して、現地の人々との協力関係を構築した。
- ② 現地政府の役職にインドネシア人を多数登用して行政の実務を習得させた。
- ③ 「インドネシア」という国名の使用を許し、言語の統一を図って団結させることに成功した。
- ④ 一九四三年には「青年道場」という教育訓練の場を開設して軍事教練を施した。ここで愛国心を養い、時間の厳守や規律の必要性を教え込み、「郷土防衛義勇軍（ベタ）」を組織させた。
- ⑤ 一九四四年九月三日、日本政府は将来の独立を容認させるに一九四五年三月には「独立準備調査会」を発定させて、スカルノらインドネシアの若き指導者に対して独立の準備を促した。
- ⑥ 四五年八月九日、日本軍、インドネシアの独立を正式に承認。

日本軍がジャワ島に進駐してから三年五月が経過していた。

兵やオランダ人は、「インドネシアは依然として我が国の植民地である」と信じて疑うことがなかった。一九四五年九月には連合軍を代表して英国軍が上陸してきた。

しかし、大統領に選任されていたスカルノをはじめとする新政府の要人たちは、独立を守るのが使命だということを熱い情熱をたぎらせていた。

しかし、現実には楽観できるものではなかった。そもそも独自の軍隊はなく、近代兵器で武装した英蘭軍に対抗できるはずがなかった。

そこで残留している日本軍の武器を譲ってほしいと日本軍に働きかけた。中には日本軍の武器庫を襲撃して強奪するケースもあった。そんなインドネシアの状況を見て、日本兵の一部は武器庫の解放を行った。日本軍からは三万丁以上の三八式歩兵銃、数百の野砲、トラック、多くの軍用食糧、弾薬、軍刀などがインドネシア側にわたった。

## 英・蘭は奪還作戦に出た

オランダ政府はハーグに戻り「東インドを元のように植民地として管理する」ことを決定し「蘭印軍」をインドネシアへ戻す準備に入った。

連合軍は、「蘭印」(インドネシア)の管理権限を米國軍太平洋司令部から英国軍東南アジア司令部に移管した。この命令により、英国政府は、英国軍の派遣を決めた。この時点における英国軍の立場は「インドネシアの独立問題には介入しない」というものだったが、「不介入」ではすまなかった。一九四五年夏以降の動きを列挙してみたい。

◆九月二十九日、英国軍の第一陣がジャカルタに進駐。

◆十月一日、英蘭連合軍司令部がジャカルタに開設された。

◆十一月十日、スラバヤで英国軍とインドネシア軍との間で戦闘が始まる。英国軍はインドネシア兵士が勇猛果敢に戦いを挑んでいることに仰天した。一か月続いた戦闘で英国軍は旅団長を含む千人以上の戦死者を出して戦いの困難さを痛感した。

◆一九四六年一月、国内各所において戦闘が起り、ジャカルタの治安維持が難しくなったため、首都機能をジョグジャカルタに移し、スカルノ大統領、ハッタ副大統領らはジョグジャカルタへ移転。

◆英蘭両国とインドネシア側との交渉は難航した。そんな中、オランダは軍隊を進駐させ、その数は十万を超えた。

◆同年十一月までに英国軍の撤退が完了した。

◆オランダの主張は「ジャワ島、スマトラ島、及びマドゥラ島(ジャワ島の東)が共和国の支配下にあることを認める。しかし、その他の島を連邦の一部として自立させて連邦国家を樹立する」というものだった。

◆同年十一月十二日、インドネシア共和国とオランダ政府は「リンガジャヤイ協定」を締結して停戦に合意した。

◆オランダ軍は、翌年一月二十四日、東部ジャワの都市に侵攻して占領、さらにスラバヤ、及びジョグジャカルタを空爆した。

◆一九四七年七月、オランダ軍はジャワ島全域で戦闘行動を開始、主要都市を占領するとともに臨時の首都となっていたジョグジャカルタにも迫った。

◆同年八月、国連安保理事会は即時停戦を求め、仲裁に乗り出すという決議を採択した。

◆同年十一月までに英国軍の撤退が完了した。

◆オランダの主張は「ジャワ島、スマトラ島、及びマドゥラ島(ジャワ島の東)が共和国の支配下にあることを認める。しかし、その他の島を連邦の一部として自立させて連邦国家を樹立する」というものだった。

◆同年十一月十二日、インドネシア共和国とオランダ政府は「リンガジャヤイ協定」を締結して停戦に合意した。

◆オランダ軍は、翌年一月二十四日、東部ジャワの都市に侵攻して占領、さらにスラバヤ、及びジョグジャカルタを空爆した。

◆一九四七年七月、オランダ軍はジャワ島全域で戦闘行動を開始、主要都市を占領するとともに臨時の首都となっていたジョグジャカルタにも迫った。

◆同年八月、国連安保理事会は即時停戦を求め、仲裁に乗り出すという決議を採択した。

◆同年十一月までに英国軍の撤退が完了した。

◆オランダの主張は「ジャワ島、スマトラ島、及びマドゥラ島(ジャワ島の東)が共和国の支配下にあることを認める。しかし、その他の島を連邦の一部として自立させて連邦国家を樹立する」というものだった。

◆同年十一月十二日、インドネシア共和国とオランダ政府は「リンガジャヤイ協定」を締結して停戦に合意した。

◆オランダ軍は、翌年一月二十四日、東部ジャワの都市に侵攻して占領、さらにスラバヤ、及びジョグジャカルタを空爆した。

◆一九四七年七月、オランダ軍はジャワ島全域で戦闘行動を開始、主要都市を占領するとともに臨時の首都となっていたジョグジャカルタにも迫った。

◆同年八月、国連安保理事会は即時停戦を求め、仲裁に乗り出すという決議を採択した。

◆同年十一月までに英国軍の撤退が完了した。

◆オランダの主張は「ジャワ島、スマトラ島、及びマドゥラ島(ジャワ島の東)が共和国の支配下にあることを認める。しかし、その他の島を連邦の一部として自立させて連邦国家を樹立する」というものだった。

◆同年十一月十二日、インドネシア共和国とオランダ政府は「リンガジャヤイ協定」を締結して停戦に合意した。

◆オランダ軍は、翌年一月二十四日、東部ジャワの都市に侵攻して占領、さらにスラバヤ、及びジョグジャカルタを空爆した。

◆一九四七年七月、オランダ軍はジャワ島全域で戦闘行動を開始、主要都市を占領するとともに臨時の首都となっていたジョグジャカルタにも迫った。

◆同年八月、国連安保理事会は即時停戦を求め、仲裁に乗り出すという決議を採択した。

◆同年十一月までに英国軍の撤退が完了した。

◆オランダの主張は「ジャワ島、スマトラ島、及びマドゥラ島(ジャワ島の東)が共和国の支配下にあることを認める。しかし、その他の島を連邦の一部として自立させて連邦国家を樹立する」というものだった。

◆同年十一月十二日、インドネシア共和国とオランダ政府は「リンガジャヤイ協定」を締結して停戦に合意した。

◆オランダ軍は、翌年一月二十四日、東部ジャワの都市に侵攻して占領、さらにスラバヤ、及びジョグジャカルタを空爆した。

◆一九四七年七月、オランダ軍はジャワ島全域で戦闘行動を開始、主要都市を占領するとともに臨時の首都となっていたジョグジャカルタにも迫った。

◆同年八月、国連安保理事会は即時停戦を求め、仲裁に乗り出すという決議を採択した。

◆同年十一月までに英国軍の撤退が完了した。

◆オランダの主張は「ジャワ島、スマトラ島、及びマドゥラ島(ジャワ島の東)が共和国の支配下にあることを認める。しかし、その他の島を連邦の一部として自立させて連邦国家を樹立する」というものだった。

◆同年十一月十二日、インドネシア共和国とオランダ政府は「リンガジャヤイ協定」を締結して停戦に合意した。

◆オランダ軍は、翌年一月二十四日、東部ジャワの都市に侵攻して占領、さらにスラバヤ、及びジョグジャカルタを空爆した。

◆一九四七年七月、オランダ軍はジャワ島全域で戦闘行動を開始、主要都市を占領するとともに臨時の首都となっていたジョグジャカルタにも迫った。

◆同年八月、国連安保理事会は即時停戦を求め、仲裁に乗り出すという決議を採択した。

◆同年十一月までに英国軍の撤退が完了した。

◆オランダの主張は「ジャワ島、スマトラ島、及びマドゥラ島(ジャワ島の東)が共和国の支配下にあることを認める。しかし、その他の島を連邦の一部として自立させて連邦国家を樹立する」というものだった。

◆同年十一月十二日、インドネシア共和国とオランダ政府は「リンガジャヤイ協定」を締結して停戦に合意した。

◆オランダ軍は、翌年一月二十四日、東部ジャワの都市に侵攻して占領、さらにスラバヤ、及びジョグジャカルタを空爆した。

◆一九四七年七月、オランダ軍はジャワ島全域で戦闘行動を開始、主要都市を占領するとともに臨時の首都となっていたジョグジャカルタにも迫った。

◆同年八月、国連安保理事会は即時停戦を求め、仲裁に乗り出すという決議を採択した。

◆同年十一月までに英国軍の撤退が完了した。

◆オランダの主張は「ジャワ島、スマトラ島、及びマドゥラ島(ジャワ島の東)が共和国の支配下にあることを認める。しかし、その他の島を連邦の一部として自立させて連邦国家を樹立する」というものだった。

◆同年十一月十二日、インドネシア共和国とオランダ政府は「リンガジャヤイ協定」を締結して停戦に合意した。

◆オランダ軍は、翌年一月二十四日、東部ジャワの都市に侵攻して占領、さらにスラバヤ、及びジョグジャカルタを空爆した。

◆一九四七年七月、オランダ軍はジャワ島全域で戦闘行動を開始、主要都市を占領するとともに臨時の首都となっていたジョグジャカルタにも迫った。

◆同年八月、国連安保理事会は即時停戦を求め、仲裁に乗り出すという決議を採択した。

◆同年十一月までに英国軍の撤退が完了した。

◆オランダの主張は「ジャワ島、スマトラ島、及びマドゥラ島(ジャワ島の東)が共和国の支配下にあることを認める。しかし、その他の島を連邦の一部として自立させて連邦国家を樹立する」というものだった。

◆同年十一月十二日、インドネシア共和国とオランダ政府は「リンガジャヤイ協定」を締結して停戦に合意した。

◆オランダ軍は、翌年一月二十四日、東部ジャワの都市に侵攻して占領、さらにスラバヤ、及びジョグジャカルタを空爆した。

◆一九四七年七月、オランダ軍はジャワ島全域で戦闘行動を開始、主要都市を占領するとともに臨時の首都となっていたジョグジャカルタにも迫った。

◆同年八月、国連安保理事会は即時停戦を求め、仲裁に乗り出すという決議を採択した。

◆同年十一月までに英国軍の撤退が完了した。

◆オランダの主張は「ジャワ島、スマトラ島、及びマドゥラ島(ジャワ島の東)が共和国の支配下にあることを認める。しかし、その他の島を連邦の一部として自立させて連邦国家を樹立する」というものだった。

◆同年十一月十二日、インドネシア共和国とオランダ政府は「リンガジャヤイ協定」を締結して停戦に合意した。

◆オランダ軍は、翌年一月二十四日、東部ジャワの都市に侵攻して占領、さらにスラバヤ、及びジョグジャカルタを空爆した。

◆一九四七年七月、オランダ軍はジャワ島全域で戦闘行動を開始、主要都市を占領するとともに臨時の首都となっていたジョグジャカルタにも迫った。

◆同年八月、国連安保理事会は即時停戦を求め、仲裁に乗り出すという決議を採択した。

◆同年十一月までに英国軍の撤退が完了した。

◆オランダの主張は「ジャワ島、スマトラ島、及びマドゥラ島(ジャワ島の東)が共和国の支配下にあることを認める。しかし、その他の島を連邦の一部として自立させて連邦国家を樹立する」というものだった。

◆同年十一月十二日、インドネシア共和国とオランダ政府は「リンガジャヤイ協定」を締結して停戦に合意した。

◆オランダ軍は、翌年一月二十四日、東部ジャワの都市に侵攻して占領、さらにスラバヤ、及びジョグジャカルタを空爆した。

◆一九四七年七月、オランダ軍はジャワ島全域で戦闘行動を開始、主要都市を占領するとともに臨時の首都となっていたジョグジャカルタにも迫った。

◆同年八月、国連安保理事会は即時停戦を求め、仲裁に乗り出すという決議を採択した。

◆同年十一月までに英国軍の撤退が完了した。

◆オランダの主張は「ジャワ島、スマトラ島、及びマドゥラ島(ジャワ島の東)が共和国の支配下にあることを認める。しかし、その他の島を連邦の一部として自立させて連邦国家を樹立する」というものだった。

◆同年十一月十二日、インドネシア共和国とオランダ政府は「リンガジャヤイ協定」を締結して停戦に合意した。

◆オランダ軍は、翌年一月二十四日、東部ジャワの都市に侵攻して占領、さらにスラバヤ、及びジョグジャカルタを空爆した。

◆一九四七年七月、オランダ軍はジャワ島全域で戦闘行動を開始、主要都市を占領するとともに臨時の首都となっていたジョグジャカルタにも迫った。

◆同年八月、国連安保理事会は即時停戦を求め、仲裁に乗り出すという決議を採択した。

◆同年十一月までに英国軍の撤退が完了した。

◆オランダの主張は「ジャワ島、スマトラ島、及びマドゥラ島(ジャワ島の東)が共和国の支配下にあることを認める。しかし、その他の島を連邦の一部として自立させて連邦国家を樹立する」というものだった。

◆同年十一月十二日、インドネシア共和国とオランダ政府は「リンガジャヤイ協定」を締結して停戦に合意した。

◆オランダ軍は、翌年一月二十四日、東部ジャワの都市に侵攻して占領、さらにスラバヤ、及びジョグジャカルタを空爆した。

◆一九四七年七月、オランダ軍はジャワ島全域で戦闘行動を開始、主要都市を占領するとともに臨時の首都となっていたジョグジャカルタにも迫った。

◆同年八月、国連安保理事会は即時停戦を求め、仲裁に乗り出すという決議を採択した。

◆同年十一月までに英国軍の撤退が完了した。

◆オランダの主張は「ジャワ島、スマトラ島、及びマドゥラ島(ジャワ島の東)が共和国の支配下にあることを認める。しかし、その他の島を連邦の一部として自立させて連邦国家を樹立する」というものだった。

◆同年十一月十二日、インドネシア共和国とオランダ政府は「リンガジャヤイ協定」を締結して停戦に合意した。

◆オランダ軍は、翌年一月二十四日、東部ジャワの都市に侵攻して占領、さらにスラバヤ、及びジョグジャカルタを空爆した。

◆一九四七年七月、オランダ軍はジャワ島全域で戦闘行動を開始、主要都市を占領するとともに臨時の首都となっていたジョグジャカルタにも迫った。

◆同年八月、国連安保理事会は即時停戦を求め、仲裁に乗り出すという決議を採択した。

◆同年十一月までに英国軍の撤退が完了した。

◆オランダの主張は「ジャワ島、スマトラ島、及びマドゥラ島(ジャワ島の東)が共和国の支配下にあることを認める。しかし、その他の島を連邦の一部として自立させて連邦国家を樹立する」というものだった。

◆同年十一月十二日、インドネシア共和国とオランダ政府は「リンガジャヤイ協定」を締結して停戦に合意した。

◆オランダ軍は、翌年一月二十四日、東部ジャワの都市に侵攻して占領、さらにスラバヤ、及びジョグジャカルタを空爆した。

◆一九四七年七月、オランダ軍はジャワ島全域で戦闘行動を開始、主要都市を占領するとともに臨時の首都となっていたジョグジャカルタにも迫った。

◆同年八月、国連安保理事会は即時停戦を求め、仲裁に乗り出すという決議を採択した。

## オランダの強欲とこじつけの主張

オランダは、「この問題はあくまでも国内問題だから、国連が介入する問題ではない」と主張したが、国連は決議に基づきオランダ、ベルギー、米国の仲裁委員会を設置した。仲裁委員会は代表をジャカルタに派遣した。

一九四六年前後の時期、オランダは今の共産支那と同じように強欲で野蛮な国家だった。

仲裁委員会は、ジャカルタ沖に停泊していた米國艦艇レンヴィル号において仲裁案を提示した。この時の合意を「レンヴィル協定」という。

◆国連の仲裁案(「レンヴィル協定」の骨子)

(1) インドネシア共和国の領土はジャワ島の中部と西部、そしてマドゥラ島に限定する。

(2) オランダ軍は占領地のうちインドネシア共和国の領土から撤退する。

インドネシア共和国は一層狭い地域に押し込められたのである。

## オランダの狡猾なやり口

「レンヴィル協定」ではインドネシア共和国の主権を認めて、オランダが抑えていた各種権益をインドネシアに移譲することになっていたが、オランダはキリスト教徒やオランダに協力的な部族を懐柔して、国内に十五の傀儡政権を樹立してしまっただけでなく、

当時のハッタ内閣が苦悩しながらオランダとの交渉を続けていた時期、こんなでもない事件が発生した。

一九四八年九月、「レンヴィル協定」を不満とする共産主義者や徹底抗戦派によるクーデターが起り、ジャワ島東部のマディウンという町に革命政権を打ち立てたのである。

ハッタ政権はただちに鎮圧するべく行動を取った。約一カ月で鎮圧できたが、こんどはオランダ側が「このままではレンヴィル協定を実施するのは困難である」として十二月十九日、共和国の領土に対して侵襲してきた。オランダ軍は爆撃機を動員してジョグジャカルタを絨毯爆撃し、多数の住民を殺害した。

## オランダによる第二次軍事攻撃

蘭印軍は、ジョグジャカルタに侵襲、スカルノやハッタらインドネシア政府要人を逮捕し、監獄に収監すると

## オランダの敗北と和平会議

一九四九年七月六日、オランダ軍によって監獄に収監されていたスカルノを筆頭とするインドネシア政府要人たちはジョグジャカルタに戻って来た。

一九四九年八月からハーグにおいてオランダとの和平会議が開催され、十一月に妥結し、次に示す内容が決議された。

◆諸邦連立のインドネシア連邦共和国を樹立する。

◆オランダは、無条件でインドネシアに関する主権を連邦共和国に引き渡す。

◆インドネシア連邦共和国は、オランダ・インドネシア連合に参加し、オランダ女王をその元首とする。

◆インドネシア連邦共和国の外交、国防、財政等についてオランダは永久に協力する。

この時点でもオランダの執念は消えていない。あくまでもインドネシアに対する影響力を保持したいという意図がありありと見えるではないか。西欧社会にとって植民地がいかに美味い「金のなる樹」であったかがここにも表れている。

## 不完全な独立を拒否したインドネシアの意地

一九五〇年八月十五日、単一のインドネシア共和国の成立が宣言された。こうしてオランダの目論見は完全に瓦解し、三五〇年もの植民地支配が消滅した。独立宣言をしたのが一九四五年八月十七日だったから、独立宣言から五年の歳月が経過していた。

## インドネシア独立に大きく貢献した日本軍人

元独協大学教授の中村繁氏が団長となって平成十一年夏「大東亜戦争を考えるインドネシア研修旅行」という企画が実施された。参加者の高池勝彦氏の文章「インドネシア独立の契機」を紹介しながら、インドネシアの独立に関して日本人がどのような貢献をしたか考えてみたい。

高池氏は現地でも多くの人々と面談し、様々な話を聞いている。面談したインドネシアの人々は、異口同音に言ったことは、インドネシアの独立に日本が極めて重大な影響を与えたということである。

日本は多くのインドネシア人を教育し、訓練し、武器を与えて軍事力の行使とはどういうものか実戦的に教えた。日本が与えた軍事力が独立を可能にした、と全ての

## 先田賢紀智氏の紀行文より

参加した方の一人に高校教師の先田賢紀智(さきたけ けんいち)氏がおられる。先田氏の紀行文の中に非常に興味深いものがあるので次に紹介したい。

先田氏は、ジャワ派遣軍の通訳をしていた中島正周という人物から貴重な証言を聴取している。

なお、中島正周氏は大東亜戦争中、ジャワ派遣軍・第十六軍参謀部の通訳を務め、「ベタ」設立に深くかかわったという。インドネシアの内情に詳しくその証言は誠に貴重なものである。

## (中島正周氏の証言)

◆「ベタ」は、現地の人から要望されて、「治政令第四十四号」に基づいてジャワ郷土防衛軍を設立しました。

◆「ベタ」の構成員は最大で三万八千人となりました。時間が許せばもっと多くの人員を訓練したかったのですが、日本の降伏によって中断されました。

◆「ベタ」を作った本来的目的は、日本軍が負けたとしても、インドネシアが再びオランダの植民地とならないようにしたい、というものでした。日本軍を悪くいう学術者などは「ベタは日本軍の弾よけのために作った」と評しますが、それは間違いです。

◆「ベタ」の部隊構成は、分隊が十二名(戦時は十六名位)、四つの分隊で小隊、小隊が三つと機関銃小隊が一つつまり四つの小隊で中隊、大隊には砲兵隊が加わりました。つまり、日本軍の編成を手本としました。

◆「ベタ」の兵隊たちは、訓練の初期段階では弱音を吐く者がいましたが、訓練が進むに従って民族意識が生まれ、一人前の兵士になっていきました。

◆「ベタ」の教官だった日本軍兵士は、訓練生たちと寝起きを共にし、情熱を持って民族意識の大切さ、戦いを遂行する強い心を教えました。

◆戦後の独立戦争では、約二千名の日本軍人がともに戦いました。日本軍の将兵は歴戦のつわものばかりで、地形の把握が素早く、銃器の取り扱いにも慣れていましたから、率先して前線に出て戦いました。そのため戦死者の割合が高約半数が戦死したと聞きます。

独立は与えられるものではなく、獲得するものである。米国の対英戦争、インドネシアの独立戦争が証明している。死を恐れぬ独立精神があればこそ独立できるのである。

## インドネシア独立に大きく貢献した日本軍人

元独協大学教授の中村繁氏が団長となって平成十一年夏「大東亜戦争を考えるインドネシア研修旅行」という企画が実施された。参加者の高池勝彦氏の文章「インドネシア独立の契機」を紹介しながら、インドネシアの独立に関して日本人がどのような貢献をしたか考えてみたい。

高池氏は現地でも多くの人々と面談し、様々な話を聞いている。面談したインドネシアの人々は、異口同音に言ったことは、インドネシアの独立に日本が極めて重大な影響を与えたということである。

日本は多くのインドネシア人を教育し、訓練し、武器を与えて軍事力の行使とはどういうものか実戦的に教えた。日本が与えた軍事力が独立を可能にした、と全ての

## 先田賢紀智氏の紀行文より

参加した方の一人に高校教師の先田賢紀智(さきたけ けんいち)氏がおられる。先田氏の紀行文の中に非常に興味深いものがあるので次に紹介したい。

先田氏は、ジャワ派遣軍の通訳をしていた中島正周という人物から貴重な証言を聴取している。

なお、中島正周氏は大東亜戦争中、ジャワ派遣軍・第十六軍参謀部の通訳を務め、「ベタ」設立に深くかかわったという。インドネシアの内情に詳しくその証言は誠に貴重なものである。

## (中島正周氏の証言)

◆「ベタ」は、現地の人から要望されて、「治政令第四十四号」に基づいてジャワ郷土防衛軍を設立しました。

◆「ベタ」の構成員は最大で三万八千人となりました。時間が許せばもっと多くの人員を訓練したかったのですが、日本の降伏によって中断されました。

◆「ベタ」を作った本来的目的は、日本軍が負けたとしても、インドネシアが再びオランダの植民地とならないようにしたい、というものでした。日本軍を悪くいう学術者などは「ベタは日本軍の弾よけのために作った」と評しますが、それは間違いです。

◆「ベタ」の部隊構成は、分隊が十二名(戦時は十六名位)、四つの分隊で小隊、小隊が三つと機関銃小隊が一つつまり四つの小隊で中隊、大隊には砲兵隊が加わりました。つまり、日本軍の編成を手本としました。

◆「ベタ」の兵隊たちは、訓練の初期段階では弱音を吐く者がいましたが、訓練が進むに従って民族意識が生まれ、一人前の兵士になっていきました。

◆「ベタ」の教官だった日本軍兵士は、訓練生たちと寝起きを共にし、情熱を持って民族意識の大切さ、戦いを遂行する強い心を教えました。

◆戦後の独立戦争では、約二千名の日本軍人がともに戦いました。日本軍の将兵は歴戦のつわものばかりで、地形の把握が素早く、銃器の取り扱いにも慣れていましたから、率先して前線に出て戦いました。そのため戦死者の割合が高約半数が戦死したと聞きます。

独立は与えられるものではなく、獲得するものである。米国の対英戦争、インドネシアの独立戦争が証明している。死を恐れぬ独立精神があればこそ独立できるのである。

## インドネシア独立に大きく貢献した日本軍人

元独協大学教授の中村繁氏が団長となって平成十一年夏「大東亜戦争を考えるインドネシア研修旅行」という企画が実施された。参加者の高池勝彦氏の文章「インドネシア独立の契機」を紹介しながら、インドネシアの独立に関して日本人がどのような貢献をしたか考えてみたい。

高池氏は現地でも多くの人々と面談し、様々な話を聞いている。面談したインドネシアの人々は、異口同音に言ったことは、インドネシアの独立に日本が極めて重大な影響を与えたということである。

日本は多くのインドネシア人を教育し、訓練し、武器を与えて軍事力の行使とはどういうものか実戦的に教えた。日本が与えた軍事力が独立を可能にした、と全ての

## 先田賢紀智氏の紀行文より

参加した方の一人に高校教師の先田賢紀智(さきたけ けんいち)氏がおられる。先田氏の紀行文の中に非常に興味深いものがあるので次に紹介したい。

先田氏は、ジャワ派遣軍の通訳をしていた中島正周という人物から貴重な証言を聴取している。

なお、中島正周氏は大東亜戦争中、ジャワ派遣軍・第十六軍参謀部の通訳を務め、「ベタ」設立に深くかかわったという。インドネシアの内情に詳しくその証言は誠に貴重なものである。

## (中島正周氏の証言)

◆「ベタ」は、現地の人から要望されて、「治政令第四十四号」に基づいてジャワ郷土防衛軍を設立しました。

◆「ベタ」の構成員は最大で三万八千人となりました。時間が許せばもっと多くの人員を訓練したかったのですが、日本の降伏によって中断されました。

◆「ベタ」を作った本来的目的は、日本軍が負けたとしても、インドネシアが再びオランダの植民地とならないようにしたい、というものでした。日本軍を悪くいう学術者などは「ベタは日本軍の弾よけのために作った」と評しますが、それは間違いです。

◆「ベタ」の部隊構成は、分隊が十二名(戦時は十六名位)、四つの分隊で小隊、小隊が三つと機関銃小隊が一つつまり四つの小隊で中隊、大隊には砲兵隊が加わりました。つまり、日本軍の編成を手本としました。

◆「ベタ」の兵隊たちは、訓練の初期段階では弱音を吐く者がいましたが、訓練が進むに従って民族意識が生まれ、一人前の兵士になっていきました。

◆「ベタ」の教官だった日本軍兵士は、訓練生たちと寝起きを共にし、情熱を持って民族意識の大切さ、戦いを遂行する強い心を教えました。

◆戦後の独立戦争では、約二千名の日本軍人がともに戦いました。日本軍の将兵は歴戦のつわものばかりで、地形の把握が素早く、銃器の取り扱いにも慣れていましたから、率先して前線に出て戦いました。そのため戦死者の割合が高約半数が戦死したと聞きます。

独立は与えられるものではなく、獲得するものである。米国の対英戦争、インドネシアの独立戦争が証明している。死を恐れぬ独立精神があればこそ独立できるのである。

インドネシア人は話したという。約三年間の日本占領中に日本軍は「ベタ」という名の軍隊を設立した。「ベタ」とは現地の言葉で郷土義勇軍を意味する。ジャワ島では「PETA」(ベタ)と呼ばれ、スマトラ島では日本語の「ギユウガン」(義勇軍)という名前で呼ばれていた。

スカルノ初代大統領はじめ独立後の政府要人や軍幹部は大半が「ベタ」の出身である。

「ベタ」はもとも日本軍の補充部隊として設置されたものだが、将来的な独立を視野に入れたものでもあった。事実、日本軍の教官たちは「いつかこの国は独立しなければならぬ」「独立するためには強い精神力と軍事的能力が必要だ」と現地の若者を激励したという。

## 先田賢紀智氏の紀行文より

参加した方の一人に高校教師の先田賢紀智(さきたけ けんいち)氏がおられる。先田氏の紀行文の中に非常に興味深いものがあるので次に紹介したい。

先田氏は、ジャワ派遣軍の通訳をしていた中島正周という人物から貴重な証言を聴取している。

なお、中島正周氏は大東亜戦争中、ジャワ派遣軍・第十六軍参謀部の通訳を務め、「ベタ」設立に深くかかわったという。インドネシアの内情に詳しくその証言は誠に貴重なものである。

## (中島正周氏の証言)

◆「ベタ」は、現地の人から要望されて、「治政令第四十四号」に基づいてジャワ郷土防衛軍を設立しました。

◆「ベタ」の構成員は最大で三万八千人となりました。時間が許せばもっと多くの人員を訓練したかったのですが、日本の降伏によって中断されました。

◆「ベタ」を作った本来的目的は、日本軍が負けたとしても、インドネシアが再びオランダの植民地とならないようにしたい、というものでした。日本軍を悪くいう学術者などは「ベタは日本軍の弾よけのために作った」と評しますが、それは間違いです。

◆「ベタ」の部隊構成は、分隊が十二名(戦時は十六名位)、四つの分隊で小隊、小隊が三つと機関銃小隊が一つつまり四つの小隊で中隊、大隊には砲兵隊が加わりました。つまり、日本軍の編成を手本としました。

◆「ベタ」の兵隊たちは、訓練の初期段階では弱音を吐く者がいましたが、訓練が進むに従って民族意識が生まれ、一人前の兵士になっていきました。

◆「ベタ」の教官だった日本軍兵士は、訓練生たちと寝起きを共にし、情熱を持って民族意識の大切さ、戦いを遂行する強い心を教えました。

◆戦後の独立戦争では、約二千名の日本軍人がともに戦いました。日本軍の将兵は歴戦のつわものばかりで、地形の把握が素早く、銃器の取り扱いにも慣れていましたから、率先して前線に出て戦いました。そのため戦死者の割合が高約半数が戦死したと聞きます。

独立は与えられるものではなく、獲得するものである。米国の対英戦争、インドネシアの独立戦争が証明している。死を恐れぬ独立精神があればこそ独立できるのである。

## インドネシア独立に大きく貢献した日本軍人

元独協大学教授の中村繁氏が団長となって平成十一年夏「大東亜戦争を考えるインドネシア研修旅行」という企画が実施された。参加者の高池勝彦氏の文章「インドネシア独立の契機」を紹介しながら、インドネシアの独立に関して日本人がどのような貢献をしたか考えてみたい。

高池氏は現地でも多くの人々と面談し、様々な話を聞いている。面談したインドネシアの人々は、異口同音に言ったことは、インドネシアの独立に日本が極めて重大な影響を与えたということである。

日本は多くのインドネシア人を教育し、訓練し、武器を与えて軍事力の行使とはどういうものか実戦的に教えた。日本が与えた軍事力が独立を可能にした、と全ての

## 先田賢紀智氏の紀行文より

参加した方の一人に高校教師の先田賢紀智(さきたけ けんいち)氏がおられる。先田氏の紀行文の中に非常に興味深いものがあるので次に紹介したい。

先田氏は、ジャワ派遣軍の通訳をしていた中島正周という人物から貴重な証言を聴取している。

なお、中島正周氏は大東亜戦争中、ジャワ派遣軍・第十六軍参謀部の通訳を務め、「ベタ」設立に深くかかわったという。インドネシアの内情に詳しくその証言は誠に貴重なものである。

## (中島正周氏の証言)

◆「ベタ」は、現地の人から要望されて、「治政令第四十四号」に基づいてジャワ郷土防衛軍を設立しました。

◆「ベタ」の構成員は最大で三万八千人となりました。時間が許せばもっと多くの人員を訓練したかったのですが、日本の降伏によって中断されました。

◆「ベタ」を作った本来的目的は、日本軍が負けたとしても、インドネシアが再びオランダの植民地とならないようにしたい、というものでした。日本軍を悪くいう学術者などは「ベタは日本軍の弾よけのために作った」と評しますが、それは間違いです。

◆「ベタ」の部隊構成は、分隊が十二名(戦時は十六名位)、四つの分隊で小隊、小隊が三つと機関銃小隊が一つつまり四つの小隊で中隊、大隊には砲兵隊が加わりました。つまり、日本軍の編成を手本としました。

◆「ベタ」の兵隊たちは、訓練の初期段階では弱音を吐く者がいましたが、訓練が進むに従って民族意識が生まれ、一人前の兵士になっていきました。

◆「ベタ」の教官だった日本軍兵士は、訓練生たちと寝起きを共にし、情熱を持って民族意識の大切さ、戦いを遂行する強い心を教えました。

◆戦後の独立戦争では、約二千名の日本軍人がともに戦いました。日本軍の将兵は歴戦のつわものばかりで、地形の把握が素早く、銃器の取り扱いにも慣れていましたから、率先して前線に出て戦いました。そのため戦死者の割合が高約半数が戦死したと聞きます。

独立は与えられるものではなく、獲得するものである。米国の対英戦争、インドネシアの独立戦争が証明している。死を恐れぬ独立精神があればこそ独立できるのである。

## インドネシア独立に大きく貢献した日本軍人

元独協大学教授の中村繁氏が団長となって平成十一年夏「大東亜戦争を考えるインドネシア研修旅行」という企画が実施された。参加者の高池勝彦氏の文章「インドネシア独立の契機」を紹介しながら、インドネシアの独立に関して日本人がどのような貢献をしたか考えてみたい。

高池氏は現地でも多くの人々と面談し、様々な話を聞いている。面談したインドネシアの人々は、異口同音に言ったことは、インドネシアの独立に日本が極めて重大な影響を与えたということである。

日本は多くのインドネシア人を教育し、訓練し、武器を与えて軍事力の行使とはどういうものか実戦的に教えた。日本が与えた軍事力が独立を可能にした、と全ての

## 先田賢紀智氏の紀行文より

参加した方の一人に高校教師の先田賢紀智(さきたけ けんいち)氏がおられる。先田氏の紀行文の中に非常に興味深いものがあるので次に紹介したい。

先田氏は、ジャワ派遣軍の通訳をしていた中島正周という人物から貴重な証言を聴取している。

なお、中島正周氏は大東亜戦争中、ジャワ派遣軍・第十六軍参謀部の通訳を務め、「ベタ」設立に深くかかわったという。インドネシアの内情に詳しくその証言は誠に貴重なものである。

## (中島正周氏の証言)

◆「ベタ」は、現地の人から要望されて、「治政令第四十四号」に基づいてジャワ郷土防衛軍を設立しました。

◆「ベタ」の構成員は最大で三万八千人となりました。時間が許せばもっと多くの人員を訓練したかったのですが、日本の降伏によって中断されました。

◆「ベタ」を作った本来的目的は、日本軍が負けたとしても、インドネシアが再びオランダの植民地とならないようにしたい、というものでした。日本軍を悪くいう学術者などは「ベタは日本軍の弾よけのために作った」と評しますが、それは間違いです。

◆「ベタ」の部隊構成

# 関防会歴史勉強会

## 中島サロンの第42回

4月13日

今、放映中のNHKの大河ドラマ「八重の桜」の根柢が陽明学であると言われています。ご承知のように会津若松落城の非運を背負った女性が主人公ですが、日本近代史の背景をなすものが陽明学ではないかと考えます。大東亜戦争緒戦で日本海軍は多大な戦果を挙げたものの、物量的な観点から敗戦を喫したと言われています。そこで日本海軍の最高指揮官だった「山本五十六元帥」の思想的構造と陽明学の関係について管見を述べたいと思います。

### 王陽明と「陽明学」

王陽明は成化8年(西暦1472年)に進士(高級官僚試験)に合格した役人の長男として中国の浙江省で生まれ、幼少時から歪ったことが嫌いな性格だったそうです。青年期に結核を患いながらも物事に全身全霊で取り組み3回目の28歳で進士に合格して明王朝の役人になります。そこで権勢を振るい横暴をきわめていた宦官を批判したため雲南地方の貴州の僻地に左遷されます。陽明は逆境に挫けることなく、辺境の地で役人たちに学問を講じ、民生の向上を図った。その一方で思索を深め官学的な扱いを受けていた「朱子学」が説く「性即理」を批判して「心即理」、すなわち「人間の心こそが一切の真理の根源となる」という原理を悟ったと言われています。

朱子(1130年)は学問(朱子学)として取り上げたものでしたが、陽明は「道」として取り上げたもので、座って勉強するのではなく、考えることにより理論づけして行動することが大事だと言う学問です。王陽明は戦術家でもあり、赴任先の暴動を鎮める功績を挙げ、許されて官廷に復帰しますが持論の「心即理」の原理を講義して多くの弟子を育成しました。しかし陽明の思想は、宮廷の権勢者から異端視されます。

王陽明は反乱軍との凄まじい戦いの中にあっても地方の豪族らを教化して見事に治安を回復しました。いずれも成果を上げて、知識と行動の一致を遂行して絶大な信頼を得て、陽明の名はさらに高まります。王陽明は端座して学問を説く学者ではなく、社会的な行動をすること「知行合一」の思想を体現したのです。広東・広西地方の大規模内乱にあたっては血を吐きながら(結核)制圧し、鎮圧後、病氣治療のため故郷に帰る途中、(1528年)11月29日に船中で57歳の生涯を閉じました。王陽明の語録と書簡を集めた「伝習録」3巻は弟子たちにより纏められて今日に継承されています。そこには知識主義、学問主義を排して、知識や学問を本当に生かすためには社会的な実践を心身にかけて行う必要がある、と説いています。

### 日本における陽明学

「朱子学」が徳川家康の時代から幕府の官学になっていた日本に、陽明学が伝わってきたのは永正19年

(1519年)に桂悟庵という僧侶が王陽明に最初に会見した、とされているが、日本人が本格的に陽明学を知ったのは慶長5年(1600年)前後のことではないかとされています。

明治期に刊行された『日本陽明学派の哲学』(井上哲次郎著)に、日本陽明学の開祖と記されている近江の國の「中江藤樹」(1608~1648年)を筆頭に陽明学徒が網羅されています。その中で主な人物を紹介すると、中江藤樹は朱子学に疑問を持ち33歳の時、陽明学の研究に没頭し独学で修めて近江聖人と言われるなど、実に立派な人物であったと伝えられています。

その弟子の一人「熊澤蕃山」(1619~1691年)は備前岡山藩の人で、わずか数カ月で帰郷し、独学で研鑽を積み、藩主・池田光政に家老にまでなり、92歳で没するまで岡山池田藩で陽明学を教えました。三輪執斎(1669~1744年)は儒官でしたが蕃山の学風に触れ、陽明学を修め江戸で「明倫堂」を開講して日本陽明学興の祖と評価されています。

# 日本陽明学と山本五十六元帥 (要旨)

関西大学講師 竹本 恒雄 (元大阪府警 警視長)

軍に反意の無いことを説きますが、容れられず戦闘となり戦病死しました。

### 河井継之助の生涯

山本五十六元帥の思想的構造に大きな影響を与えたのは、河井継之助であると言われています。越後長岡藩の牧野家は7万3千石で、文政10年1月1日に前述の勘定奉行の長男として生まれました。以下、継之助の略歴を述べますと次のとおりであります。

- \* 32歳のとき、備前中山藩の山田方谷のもとで藩政改革と産業振興、組織の合理化などの教えを受けた
- \* 郡奉行・上野家老となり藩の行政改革を断行
- \* 藩の軍事総監となり、兵制と兵器の近代化を実施
- \* 慶応3年(1867年)徳川慶喜大政奉還のとき、藩主・牧野忠訓に従い、朝廷と幕府の間で建白書を差し出し、仲介をする
- \* 鳥羽伏見の戦いでは幕府軍として大阪城玉造口の警備に参加、敗報を知るや藩兵をまとめて江戸に帰り、そして横浜でガットリング砲などの新兵器を購入して帰藩
- \* 慶応4年(1868年)新政府軍との会談決裂、長岡城の攻防始まる
- \* 6月2日、長岡城陥落、継之助負傷し8月16日死去

継之助に代わり家老・山本帯刀が指揮を執る

- \* 山本五十六の祖父・高野貞通戦死、父・貞吉、兄・も負傷
- \* 明治2年廃藩置県で長岡藩は2万4千石に減封されたが、会津藩は廃藩となる
- \* 減封の飢餓惨状をみかねて分家の「三根山藩」が米百俵を贈る、1万石余りの小藩にとって百俵の供出は厳しいものだった。この見舞米を飢餓状態の藩士に配るべきか議論されたが大参事の小林虎三郎(陽明学徒)らは「長岡の進むべき道は教育にある」と百俵の売却代金で国家社会に有用な人材育成の学費支給を行う育英団体「長岡社」を設立

### 山本五十六の生涯

山本五十六(明治17年4月生)の生家は「高野」とい、代々、長岡藩の儒官で、兼ねて槍術師範役でもあり家禄は120石でした。祖父の貞通は河井継之助総監の元で戦死しましたが、父も兄も従軍していて継之助の遺訓は充分に感得していたと思えます。

父・貞吉は長谷川家から、高野家の長女と結婚して婿養子に入ります。4人の男子を授かったが不幸にして夫

人が死去したため、その妹・峯と再婚します。そして、かず、季八、五十六と3人の子供に恵まれました。父が56歳、母が33歳のときに産まれていますので五十六と名付けられたと言います。ために長兄とは30歳の年齢差があります。

父は小学校の校長を勤めていましたが、既に定年退職しており、浄土真宗の信仰篤い越後でなかったら、五十六は間引きされる運命にあったと云われています。それ故に少年時代から苦学が絶えず、長岡中学校に入学するに学費が無く、前述の「長岡社」から学費を出して貰っています。そうして海軍兵学校(第32期)には2番の成績で入校します。海軍入校には伯父にあたる野村貞・海軍少将(呉鎮守府司令長官)の影響があったと言われています。

5人の兄達は、食い扶持を減らすため他家に養子に

かったのではないかと云われていて、もし山本五十六が退役していたら対米戦争の様相は大きく変わったのではないかと推察します。

### 長岡藩が三百年かけて創り上げた男

いずれにしても山本五十六は弾丸の下をくぐった体験をもつ貴重な、少数の一人として、対米英戦争で海軍の総指揮をとることになります。

大正4年(32歳)に海軍少佐に昇進、翌大正5年に長岡藩の家老であった山本帯刀の名跡を継ぎますが、山本家の家紋のあった袴一対と墓石だけを相続したのです。大正7年、廃藩の憂き目をみた会津藩士の娘・三橋礼子と結婚しますが、見合いの席で袴一枚の姿になり欠けた左指と肉のそげた大腿部を見たそうです。昭和15年(57歳)、海軍大將に親補され、昭和18年ブーゲンビル島で戦死しますが、元帥府に列せられ國葬で葬送されました。

戊辰戦争で、河井継之助の片腕となり会津まで転戦した末、新政府軍に捕らえられ斬首された陽明学の信奉者・山本帯刀家は改易・廃絶となり、河井家は逆賊の汚名を着せられ、世に隠れ住んでいました。明治22年、新憲法発布の恩赦でやっと罪名消滅して山本家の家名再興にふさわしい人物として選ばれたのです。

山本五十六の友人であった長岡市内の堅正寺住職・橋本禪庵和尚は「山本五十六は長岡藩が300年かけて創り上げた男」と評価するようになり、長岡人の典型のような人物であった。



昭18年4月18日、ブーゲンビル島上空で米軍機の待ち伏せを受け前線視察中の山本聯合艦隊司令長官は戦死しました。(詳細は省く)これは日本海軍の暗号が解読されていたためです。乗機は中央部で折れていて、前部は焼けただけでしたが後部座席の長官は、白い手袋のままの左手で軍刀を軽く添えていて、遺体の損傷はほとんど無く、首をわずかに垂れていて、あたかも考えごとをしているようだったそうです。長官戦死は、海軍甲事件として暫く秘匿されました。

7ヶ月前に書かれた遺書があり、それには「征戦以来、幾万の忠勇無双の将兵が命をまことに奮戦し、護国の神となりましぬ。ああ、我何の面目がありて、見(ま)みえむ。大君に将又(は)また、逝きし戦友の父兄に告げむ言葉なし。身は鉄石に非ずとも堅き心の一徹に敵陣深く切り込みて日本男子の血を見せむ。いざまして、しばし若ら死出の名残の一戦を華々しくも戦い、やがてあとを追うふ、われなぞ。昭和17年9月末、述懐山本五十六誌山本長官は、聯合艦隊司令長官になるまで戦争に反対していた、開戦してからは反対するよりも戦争を遂行していった。「敵を知り己を知って」対処したものの、敗戦の道をたどったのであるが、その精神的構造は陽明学の「知行合一」に由来するものと私は判断します。

# 掃海艇体験航海の一日(6月9日)

海上自衛隊阪神基地の体育館に集合した関西防衛を支える会の会員110名に高橋忠義司令から概要説明があり、聴講した後、掃海艇に乗り神戸沖を1時間ほど巡った。また濱野ゆきさんが一日艇長に委嘱されて華を添えた。



講演中の高橋司令

衛隊で防衛白書の制作チームに所属していたため、現場に行くことが出来ませんでした。ここ阪神基地でも液化現象で建物が傾いたりして大変でした、今の建物はその後再建されたものです。

に地元に戻ってきました。やはり懐かしいですね。今は自宅から通勤しています。今年の3月には母校・西宮東高校の卒業式に招待されました。壇上には国旗が掲げられ、生徒は国歌斉唱をしていて、防衛大学に進学した時に大半の教師から反対されたり、同級生に「お前は学校の恥だ」などと罵倒された往時を思うと隔世の感があります。また阪神淡路大震災で救出や支援などで大きな役割を果たしたことから阪神間では自衛隊に対して「応援してくれる土壌がある」と感じています。

規定がなくスパイ行為も敵前逃亡も想定されていないのは我が国だけです。自衛隊の規定が法律上あいまいなのは現場におられる者として非常に不安を感じます。沖繩勤務の経験から尖閣諸島の話をしますが(と写真を示す)。我が国の排他的経済水域は世界で4番目です。日本人はこれだけの海を持っていると意識したことは無いでしょう、これは大きな国益なんです。

の海域で訓練をやるなんて怪しからんですよね。ただ海の航海の自由があまりから、どうぞとなるんです。これが大事なんです。日本が、ここで軍艦の訓練をしたらアカンと云ったと勝手に自分で自分の首を絞めることになるのです。中国は中国の排他的経済水域で軍事活動をやっているじゃないと言っていますから、軍事活動はできません。

せん。日本にとって日本領土の問題を話し合うことはできません。話し合うと云うことは、日本領土を手放せ、と云うことに他なりません。解決方法はひとつしかありません。法律を改正して自衛隊をナショナルスタンダードに変えることです。

だから日本は掘っていないのです。中国に売っても赤字なんです、だからここで掘ると云うのは政治的意味しかありません。領海侵犯や領空侵犯が頻発していますが、巡視船は1日中走っています。那覇から尖閣までの距離は神戸から天分くらいありますから、食料などは石垣島で調達しています。石垣島から尖閣まで160キロありますからやはり半日くらいかかります。また領空侵犯には那覇の航空自衛隊がスクランブルしますが、これらの警戒体制は今まで通りで良いのかと議論されています。

私は西宮東高校を出てパイロットを目指して防衛大学(23期)に入りました。2年進級時に教官からパイロットなら航空自衛隊よりも海自の方がなりやすい、とのアドバイスで海を選択しました。昭和54年無事に卒業して本格的な飛行訓練が始まりましたが、訓練機を初めて操縦した時、これは緊張して記憶にありません。訓練を重ねるうちに、哨戒機などの固定翼とヘリコプターの回転翼のどちらかを専門にするか、決めなければなりません。当時、艦載ヘリのパイロットはあまり人がなかったのですが、船乗りも悪くないなと考え艦載ヘリのパイロットを希望しました。

昭和61年、護衛艦「しらね」の艦載ヘリのパイロットとして勤務しているとき、同じチームの隊長らが乗ったヘリがオイル漏れが原因で海上に墜落して3人の仲間が殉職しました。当時は救命胴衣などの装備が十分とは言えなかったのですが、命は一瞬で失われるというところを、改めて実感しました。それ以来、安全対策の徹底を強烈に意識するようになりました。

現在の法律では自衛隊も海上保安庁も他国の公船に対して、臨検や拿捕の権限がありません。海保の能力を越えた事態に発令される海上警備行動でも審判には有効かも知れませんが、公船に対する影響力はあります。他国のような軍法

は百年経っても解決できません。中国の習近平国家主席がオバマ大統領と会談したとき、話し合いで解決しようと言っています。しかし、話し合いで解決しきれない言葉ですね、しかし、この問題は話し合いで百年経っても解決できません。

中国の習近平国家主席がオバマ大統領と会談したとき、話し合いで解決しようと言っています。しかし、話し合いで解決しきれない言葉ですね、しかし、この問題は話し合いで百年経っても解決できません。

海上保安庁も海上自衛隊も、皆さんは頼りないと思われるかも知れませんが、国内法にのっとる精一杯の事をやっていますので宜しく御理解をお願いします。(以上要旨・文責新川)



掃海隊司令天野二佐より1日艇長を委嘱される濱野夕希子さん



阪神基地開隊61周年記念(6月1日)

平成7年の阪神淡路大震災では、親族にケガなどはなかったのですが、報道映像で見る変わり果てた故郷の姿に言葉を失いました。当時、私は海上幕僚監部防



### 山本覺氏逝去

弊会監事の山本覺氏が去る5月16日逝去された。19日執行された葬儀には折木防衛大臣補佐官(前統合幕僚長)、河村陸上自衛隊中部方面総監、高橋海上自衛隊阪神基地司令、井上航空自衛隊奈良基地司令、山岡大阪地方協力本部長など多

数の参列者が葬送された。氏は昭和18年1月2日島根県に生まれ、昭和36年陸上自衛隊に入隊。後、第一空挺団で落下傘部隊の訓練を受ける。降下回数70回を誇り、最も困難な降下は琵琶湖上であつたと語っていた。空挺時代、剣道7段を免許され

る。全日本空挺同志会近畿連合会々長を務める。平成15年、(社)日本郷友連盟「大阪府郷友会々長」に就任。平成13年、防衛庁長官感謝状受賞。平成14年、法務大臣より「保護司」委嘱。平成22年、藍綬褒章受賞。など、防衛行政に貢献された。謹んで哀悼の意を捧げます

### 編集 後記

＊河村総監が樋口季一郎陸軍中將について語って下さった事に感謝。特にハルピン特務機関長時代の上司は関東軍参謀長・東条英機中將である。後年、東条さんをも悪く云う人が多いが五族共和を掲げる満洲国の理念を説く樋口少將に東条さんは納得して満洲国や外務省などに理解を求めた。

シムンシュ島で樋口中將に痛手を受けたソ連軍は樋口さんをA級戦犯に指定するがアメリカに亡命したユダヤ人が猛反対してリストから外された。もし、東条さんのこの事実をユダヤ人が知っていたら東京裁判での判断は少しは変わったかもしれない。

敵前逃亡の代名詞のような將軍もあれば宮崎三郎中將のようにインパール作戦で殿をつとめ見事に役目を完遂した名將もある。軍人を評するにその賢愚、勤

### 御人会の御願い

関西防衛を支える会では会員募集中です御人会御希望の方は下記口座にお振り込み下さいれば会員となります

三井住友銀行守口支店	
普通口座	1261314
口座名	関西防衛を支える会
郵便振り込み	
口座番号	00960-2-137035
口座名	関西防衛を支える会
一般会員	年会費 3000円
維持会員	々 10000円
法人会員	々 20000円

\* 1口以上何口でも申し受けます。銀行振り込みの場合は小会まで住所など御連絡下さるようお願いいたします。(振り込み用紙には住所の記入が無い為、以後のご案内が出来ませんので)。\* 会計年度は4/1~3/31です

濱野晃吉様 いつも大変お世話になっております。先日、希咲クリニックに大変素敵なメッセージ及びお花をお届け頂き本当にありがとうございます。心よりお礼申し上げます。実は、それ以外にも、僕は濱野社長と(濱野)夕希子さんに感謝したいことがあります。僕は小さい頃から、戦後の日本人のハングリー精神、勤勉さ、愛国心に憧れて、貧しい両親に無理してもらって、マレーシアから日本にやって参りました。正直に申し上げますと、日本に來てからは、がっかりしてしまうことも多かったのです。多くの日本の若者は、豊かな生活に慣れてしまったせいか、僕が憧れていた日本人のハングリー精神が見えて來ないし、人によっては日本の国歌でさえ歌えないのが現状です。何よりも、僕が一番悲しく感じたのは、日本の良さと素晴らしさは、意外と多くの日本人が理解していないような気がします。しかし、二年前に、日本のために戦う(参議院選挙立候補)という夕希子さんの姿を見ました。き、あっ、これこそ、僕が憧れていた日本人の尊い精神と姿勢と感動し、今までもやもやになつていた気持ちが掃き払われました。濱野社長と夕希子さんのような本気の愛国者と出会えて、僕は改めて、日本に來て良かったと思えました。

## 希望が咲き誇る国・日本

希咲クリニック院長

### 山分ネルソン祥興(40才)

陰で、東南アジア諸国が欧米の植民地から解放されたと思っています。例の三ヶ国を除けば、世界のどの国に行っても、日本人や日本文化は大歓迎されます。残念ながら、多くの日本人は、特に海外渡航経験のない方や若者が、この事実を知らずに、日本人であることを誇りに思えずにおられます。本心に悔しいです。これらの方々に、日本の良さを是非お伝えしたいと思います。なぜならば、僕は、日本語の話せない18才の少年時、日本に來て、ずっと日本国の恩恵を受けて、一人の医師へと日本に育つて頂きました。僕にとって、これこそジャパニーズドリームです。必死に頑張れば、日本という国は、希望が咲き誇る国ですよ、という自分の経験と想いを伝えるために、クリニック名を希咲(きさき)クリニックと名付けさせて頂きました。日本への恩返しとして、海外で育つた僕は今後も、自分で客観的に見た、または体験した日本の良さを二人でもおおくの日本人に伝えていきたいと思えます。今後、濱野社長と夕希子さんから、ご指導・ご鞭撻を賜りますように、よろしくお願ひ申し上げます。\*編集部註 山分ネルソン医師は大阪大学医学部卒で大阪十三で英語、中国語、韓国語などに対応出来る産婦人科医院を開業中。濱野会長への私信だか、諒解を得て掲載した。

### 平成25年奈良基地祭祝賀会食



中央・井上奈良基地司令、右・佐藤正久参議院議員 (5月25日)

## 防務 フォトフラッシュ

急と結果責任を考えなければならぬと思う。政府策定の絶対国防衛(対米英蘭將戦争終結促進ニ関スル腹案)外のアッツ島、キスカ島やニューギニアなどに海軍は陸軍の派兵を要求した。その結果が玉砕や餓死であった。樋口さんは鎌倉の海岸にたたずみ終日、北の海を眺めて余生を過ごした、と言う。＊従軍慰安婦なる造語が跳梁跋扈して橋下大阪市長が苦戦している。当時慰安婦制度は各国の軍隊が持つて

いた、と言う市長の発言は大筋は正しい。ラバウル海軍航空隊の零戦搭乗員が消耗した戦闘機受領に日本へ向かう時、ピー屋(慰安所の軍隊隨語)の女から朝鮮の住所氏名を渡されて郵便為替での送金を頼まれた。その金額は搭乗員が驚くほどの大金だった。朝鮮は当時内地だから為替が確実有効な送金手段である。この一例をみても強制連行などあり得ない。また、ベトナム戦争に参戦した韓国の猛虎師団の性的

悪行を韓国はどのように認識しているのか!。昭和21年、福岡で黒人兵の集団脱走事件が起こり、凌辱の限りをつくした。これに懲りたGHQ(米軍)は日本政府に密かに米軍専用の慰安所の設置を命じた。このような事例も知らずに米国防務省の女性報道官はテレビで橋下市長を面罵していた。7月の閣防歴史勉強会では三宅博衆議員に中韓の捏造妄言の歴史認識を斬ってもらう事にした。乞ひ期待。(新)



信太山駐屯地創立56周年記念 中央・古庄連隊長 (4月28日)

### 死んでたまるか!!

田幸教授(琉球大)開発の特許商品!! 沖縄モズクと北海道産真昆布ガニアシの純粋フコイダンダブルで配合!! 生活習慣病が気になる方に...



【フコイダンZ】150粒(25-50日分)25,000円 お試し用30粒入り2,000円とお徳用350粒入り50,000円もあります。

Beauty Health Laboratory ビー・エイチ・ラボ 〒553-0006 大阪市福島区吉野4-19-10 TEL(06)6462-5820 FAX(06)6462-5824 携帯・PC共通 http://bh-labo.net

### 送迎車両の運行と管理は安心・安全の弊社へ!

人員送迎の 乗用車・ワンボックス車・マイクロバス・大型バス 運転請負の専門会社

社団法人 日本自動車管理業協会(正会員) 株式会社 サンワ運行委託 フリーダイヤル 0120-77-5645 URL http://www.sanwa-drivers.co.jp/ 一本社 〒570-0032 大阪府守口市菊水通2-19-1(菊水第二ビル) ☎06(6993)5645 FAX06(6993)5644 神戸支社 ☎078(652)5645/京都営業所 ☎075(595)5645